

コロナ禍の応急処置『3つの基本』

9月9日は「救急の日」です



救急の日は、救急医療関係者の意識を高めると共に、救急医療や救急業務に対する正しい理解と認識を深めることを目的として定められています。救える命を救うために私たち一人ひとりができることについて考えてみましょう。

富士山南東消防本部
警防救急課
972-5803

コロナ禍の応急処置『3つの基本』

ウイルスの感染が不安な状況で、突然、愛する人が病气やケガをしたら…あなたはかけがえのない命を救えますか？

私たちは、いつ、どこで、突然の病气やケガに襲われるかわかりません。

心臓が停止すると脳への酸素供給が絶たれるため、脳がダメージを受けます。脳が受けるダメージは時間の経過とともに深刻化していきます。もし、そばにいるあなたが適切な応急処置（心肺蘇生法）を行うことができれば、その人の命を救う確率が高くなります。

新型コロナウイルスへの感染のリスクもある状況で応急処置を行うときは、倒れている人に感染の疑いがあるものとして、次の『3つの基本』に従って行いましょう。

コロナ禍の応急処置『3つの基本』

- ① 胸骨圧迫（心臓マッサージ）を始める前に、ハンカチやタオルなどを倒れている人の口と鼻にかぶせましょう。
注意：胸骨圧迫や人工呼吸をすることで、ウイルスの混ざった空気（エアロゾル）が出る可能性があるため。
- ② 心臓が止まって倒れているのが大人の場合
→人工呼吸は行わず、胸骨圧迫とAEDを使った電気ショックを行います。
- ③ 心臓が止まって倒れているのが子どもの場合
→人工呼吸の訓練をしたことがあり、技術と意思がある場合には胸骨圧迫に加えて人工呼吸も行います。
注意：子どもの場合、呼吸が悪くなったことが原因で心停止に至ることが特に多いため。

各種救命講習を実施

富士山南東消防本部では、感染防止対策を講じたうえで、AEDの取扱いを含んだ4種類の救命講習を実施しています。

普通救命講習Ⅰ（180分）

- ・ 応急手当の重要性
- ・ 主に成人を対象とした心肺蘇生法
- ・ 大出血時の止血法

普通救命講習Ⅱ（240分）

- ・ 応急手当の重要性
- ・ 主に成人を対象とした心肺蘇生法
- ・ 大出血時の止血法
- ・ 心肺蘇生法に関する知識の確認、実技の評価

普通救命講習Ⅲ（180分）

- ・ 応急手当の重要性
- ・ 主に子どもを対象とした心肺蘇生法
- ・ 大出血時の止血法

上級救命講習（480分）

- ・ 応急手当の重要性
- ・ 成人、子ども、新生児を対象とした心肺蘇生法
- ・ 大出血時の止血法
- ・ 心肺蘇生法に関する知識の確認、実技の評価
- ・ 傷病者管理法、手当の要領、搬送法



講習の実施日程等、詳細は富士山南東消防本部ウェブサイトをご覧ください。